

2024年3月15日  
株式会社三菱UFJ銀行

## 株式会社ゲットイットと「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一（以下、当行））は、株式会社ゲットイット（代表取締役 廣田 優輝（以下、同社））との間で、ローン・マーケット・アソシエーション<sup>①</sup>（以下、LMA）等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるシンジケーション方式のコミットメントライン（以下、本ローン）を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

【KPI】 サーバー、及びネットワーク機器のリユースを通じた「CO2削減貢献量」

【SPT】

	2024年度	2025年度	2026年度
CO2削減貢献量 (t-CO2e)	34,445	38,613	45,784

同社は、顧客が抱えるITハードウェアに関する課題を解決するサービスとして、保守・買取・修理・データ消去・販売・レンタルなどのサービスをワンストップで提供、ITハードウェアのライフサイクルを持続可能にする「サステナブルコンピューティング」の実現を通じ、循環型社会への移行への貢献を目指しています。

中期経営計画のマテリアリティとして、リユース・リサイクル台数を定め、無駄な生産、及び廃棄を抑制することで、本来新品製品が製造される際に排出されるはずであったCO2の排出削減に貢献することとしています。

【本ローンの概要】

契約締結日	2024年3月15日
アレンジャー/エージェント	株式会社三菱UFJ銀行
組成金額	10億円
資金使途	運転資金
貸出人（五十音順）	株式会社三井住友銀行、株式会社みずほ銀行 株式会社三菱UFJ銀行

また、本ローンでは、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定したSPTの合理性について第三者意見を取得しています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 800 機関が加盟。

以 上